

守ろう!! チョウセンアカシジミ



チョウセン  
アカシジミ  
の一生

落合君 次はぼくがチョウセンアカシジミの一生を説明します。

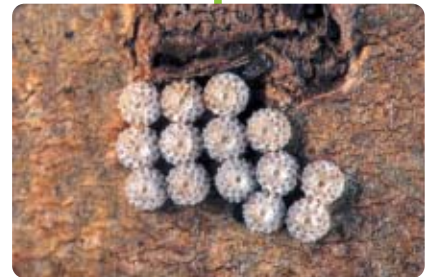
メスは7月ごろ産卵

7月ごろチョウセンアカシジミのメスは、デワノトネリコという木の根本の近い所に卵を産みます。卵は1個から10数個まで産み、1本の木に200個以上も産むこともあります。卵はそのまま冬を越して、次の年の4月下旬、幼虫は卵から出てきます。(ふ化)

卵から出た幼虫は、デワノトネリコの木の上に登って、葉っぱや芽を食べて育ちます。それから、1齢・2齢・3齢・4齢と3回脱皮を繰り返して、2ヶ月くらいまで大きくなります。そして6月中旬、石の下や落ち葉の下でさなぎになって、7月上旬にさなぎから出てチョウになります。(羽化)

羽化したチョウセンアカシジミは、それからの3週間生き、交尾のあとメスは産卵をして1年の命は終わります。

スタート



1 【卵】 卵は数個から10数個かためて産みつけられます。1個の大きさは約0.8mmです



2 【ふ化】 冬を越した卵の中の幼虫は、4月下旬のあたたかな朝にふ化(卵から出ること)します



3 【葉上の幼虫】 幼虫は葉の色に似ているので鳥などにも見つけにくいようです



4 【アリとの共生】 終齢幼虫は蜜を出し、アリはそれをもらうかわりに幼虫を敵から守ります



5 【さなぎ】 6月中旬ごろ、幼虫は木をおりて石や枯れ葉の下でさなぎになります



6 【羽化】 7月上旬の午前中、じっと動かなかったさなぎからついにチョウとなって出てきます



7 【成虫の食事】 成虫の食事は朝つゆを飲むぐらいです。写真はトネリコの茎をなめているところです

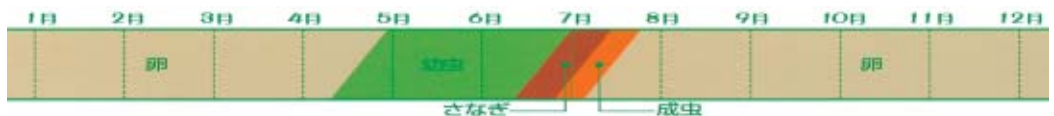


8 【交尾】 オスはメスを見つけると同じ葉にとまり、ならんでから腹部をまげて交尾をします



9 【産卵】 交尾したメスはトネリコの木をおりていき、気に入ったところにゆっくりと産卵します

月別に見る  
チョウの一生



※写真はチョウセンアカシジミの会の小池聡さんから提供していただきました